

待降節・降誕節



(大学内の待降節リース)



(札幌マリア院のプレゼピオ)



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。

人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネ福音書15章5節)



学内に飾られたクリスマスの飾りを探しましょう。

聖書のことば

彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」(ルカ 2章6-11節)

皆さん、後期になって対面授業が増えて、どれほど喜んでいらっしゃるのでしょうか。

久しぶりに会う友人たち、そして一年生なら初めて会うクラスメートたちとも友情をはぐくみ、毎日を有意義に過ごしておられることでしょうか。

キリスト教(カトリック教会)では毎年今の時期を「待降節」(英語ではAdvent)と呼び、イエス様の降誕を待つ季節となっています。毎年クリスマスの4つ前の日曜日から始まり、クリスマス前日で終わります。今年は11月28日からになっています。

「待降節」(Adventus)という言葉の意味は、「来臨」を表し、主の来臨(降誕と再臨)に備えて準備する季節です。教会暦では「年初」にあたります。教会暦は待降節第一日曜日から始まるのです。

この季節には二重の意味があり、第1の意味は神の子イエスの第一の来臨(約2000年前の出来事)を記念する降誕祭のための準備期間であり、第2の意味は終末におけるキリストの第二の来臨へと心を開ける期間でもあります。

待降節は、愛と喜びと希望の時。

クリスマスとは何でしょうか?

イエス・キリストの誕生日? 新約聖書にはイエス・キリストの生まれた日を特定していません。

ルカ福音書には、「ユダヤの王ヘロデの時代」「皇帝アウグストゥスから全領土の住民に登録せよとの勅令が出」て、これは「キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録」であったことが記されています。かなり詳細に歴史的背景がわかる記述です。ヘロデ大王は紀元前4年に死去していますので、イエスの誕生はその少し前になります。12月25日に誕生したということはどこにも記されていません。

ここからわかるのは、クリスマスというのは「キリストの誕生日」ではなく、「**キリストが生まれてきたことを感謝しお祝いする日**」と言えます。登録のために人々が故郷に大勢移動していたため、宿屋がなくて家畜小屋で生まれたと記されているイエスの誕生に始まる、神が人類に直接手を差し伸べられた救いの御業。

人類の救い主として十字架につけられ、死に、そして復活された救い主イエスの誕生のお祝いです。人類の歴史に、神からの光と愛と希望をもたらした主イエスへの感謝と愛。

クリスマス

クリスマスに愛が降りてきた

うるわしき愛

神からの愛

クリスマスに愛が生まれた

星や天使のしるしと共に

(クリスティナ・ロゼッティ)

クリスマスミサ & オルガンコンサート



日時: 12月23日(木) 13:00

クリスマスミサ 約50分

オルガンコンサート 約30分

演奏: 大野敦子様(教会オルガニスト)

場所: 聖マリア聖堂

* なお花川キャンパスでは

12月22日(水) 12:45

クリスマスミサのみが行われます

場所: チャペル(3F)

ボランティア学生の募集

カトリックセンターでは、活動を補助していただくために、ボランティア学生を募集しています。

* 諸行事の際のお手伝い

* クリスマスの学内飾り付けのお手伝い

などがそのお仕事です。

多忙なボランティアではありませんので、どうぞお気軽に学生課鷺足までお申し出ください。

教皇フランシスコのTwitterより



Pope Francis_@Pontifex

I thank all those who are committed to alleviating their suffering. Let us remember migrants, their suffering and #PrayTogether.

国を離れざるを得なくなった人々の苦しみを和らげようと尽力されている方々に感謝しています。移動せざるを得なくなった人々に、またその苦しみにこころを向け、[#ともに祈りましょう](#)。

神はわたしたちに対してあわれみ深いかたです。わたしたちも、とくに苦しむ人に対して、あわれみ深くあることを学ばなければなりません。

祈り、謙遜、すべての人に対する愛は、キリスト教的な生活において不可欠なものです。これらは聖性への道です。

ミサへのお誘い

聖マリア聖堂において、後期には下記の通りマルクス学長司式によるミサを行いますので、どなたでもご参加ください。

12月23日(木) 13:00~14:00(16条)クリスマス

1月18日(火) 12:30~13:00

3月17日(木) 13:00~14:00 卒業感謝

聖歌隊員募集

本学では、聖マリア聖堂完成を機に、聖歌隊を結成しました。学内の宗教行事に美しい聖歌で花を添えていただいています。

現在はコロナのために活動を休止していますが、練習が可能になりましたら、原則週1回1時間程度。ご指導は元藤中高教師の細貝則子先生です。

関心のある方は、学生課鷺足までご連絡ください。

